

2024年度 環境経営レポート

(2024年2月1日～2025年1月31日)

発行日 2025年3月31日



〒990-2226 山形市西越25番地
TEL 023-624-1711 FAX 023-632-0681
<http://www.isono-body.co.jp>



背景の花は毎年6月になると賑わいをみせる当社のサンパチエンス
二酸化炭素の吸収能力が他の園芸植物の4～6倍！空気を浄化し、
「打ち水効果」で周りを涼しくする効果があります。

目次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録対象範囲	2
3. 実施体制	2
4. いそのボデーの沿革	3
5. トラックの流通とボデー製作	4
6. 環境経営方針	5
7. 環境経営数値目標	6
8. エコアクション21環境経営の新展開構想	7
9. 企業価値決定要素別活動事例の紹介	10
10. エコアクション21環境経営目標の実績とその評価	18
11. エコアクション21環境目標の実績	19
12. エコアクション21環境経営計画とその取組結果	20
13. 環境関連法等の順守状況, 苦情訴訟等の有無	21
14. 次年度のエコアクション21環境経営目標及び環境経営計画	21
15. 代表者による全体の評価と見直しの結果	22

1.組織の概要

■事業所名及び代表者名

株式会社 いそのボデー
代表取締役 磯野 栄治



■所在地

本社・工場 〒990-2226 山形市西越25番地

■環境管理責任者及担当者連絡先

- ・ 環境管理責任者: 常務取締役 森谷 健司
- ・ 連絡担当者 : 人事・総務部 田中 咲希
- ・ 連絡先: TEL023-624-1711 FAX023-632-0681
- ・ Email: saki.t@isono-body.co.jp

■設立年月日

1964年(昭和39年)2月

■資本金

3,630万円

■事業の規模

- ・ 売上高 1,430百万円
- ・ 従業員数 91人
- ・ 敷地面積 **16,250m²**



■事業活動の内容

- ・ トラックボデーの製作
- ・ 自動車整備
- ・ 自動車保険代行

弊社は、山形に拠点を置き全国に自社開発商品アイスキップドア(オートスライドドア)を搭載したトラックボデーや汎用性の高い平ボデーを主力に製造販売し、小型車から大型車のボデー架装、修理等も匠の技術と社員のアイデアを尊重しながら手掛けております。

木製人力荷車の製造から始まった弊社は創業60周年を迎えました。時代の要請に応え続け、半世紀もの長きにわたって培った技術力と斬新な発想力でイノベーションをもたらしています。



【3D設計】



【匠の塗装技術】

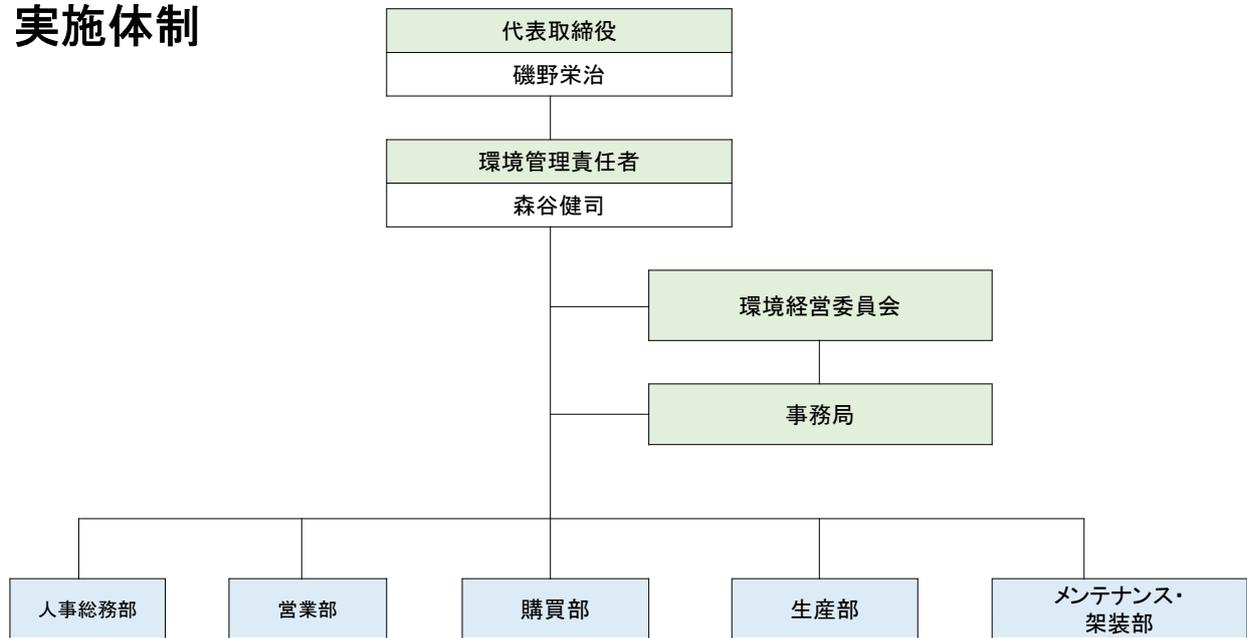


【充実した設備】
(レーザータレットパンチ)

2. 認証・登録対象範囲

- ・認証・登録事業者 : 株式会社いそのボデー
- ・対象活動 : トラックボデーの製作, 車検代行, 自動車整備, 自動車保険代行
- ・対象組織 : 本社

3. 実施体制



【各役割・責任・権限】

代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を策定する ・実施体制を構築する ・経営における課題とチャンスを確認にする ・環境経営システムの全体的な評価の見直しを行い, 改善の指示を行う ・環境への取組に必要な人員, 設備, 費用等を適切に準備する ・環境管理責任者を任命する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針, 環境経営目標及び環境経営計画, 実施体制の全従業員への周知 ・ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築・運用, 維持 ・環境経営システムの実施状況を代表取締役に報告する ・環境経営委員会を開催する
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの事務を行う ・外部および内部からの苦情, 要望, 意見等の受付を行う ・環境に関する取組への助言, 指導を適切に行う(教育訓練の計画) ・環境経営レポートを取りまとめる
環境経営委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資源・産廃等の使用量・排出量を把握し, 削減策を講ずる
環境経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・目標及び計画実施記録を毎月各担当者が記入 会議は3ヶ月に1回以上開催し, 環境経営に関する活動報告を行う
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を理解し, 積極的に・自主的に環境活動に取り組む

4. 株式会社いそのボデーの沿革

1952年12月 創業

1964年 2月 株式会社磯野ボデー製作所 設立

1973年11月 山形市西越(現在地)に新社屋・工場を建設し移転

1980年 5月 社名を「株式会社いそのボデー」に変更

1996年11月 貨物車輛の箱型荷室用自動開閉扉(iSkip Door)特許出願

2000年10月 「iSkip Door 1.0」生産開始

2003年12月 iSkip Doorが山形エクセレントデザインセレクション2003「エクセレントデザイン賞」受賞

2006年 7月 貨物車輛の箱型荷室用自動開閉扉(iSkip Door)特許取得

2007年 5月 「iSkip Door 2.0」生産開始

2009年 1月 「iSkip Door 2.5」生産開始

2011年12月 「エコアクション21」認証取得

2012年 1月 「チョコ案」活動開始

2013年11月 創立50周年記念式典開催

2015年 2月 掃除大賞2015「経済産業大臣賞」受賞(日本そうじ協会)

2016年 2月 掃除大賞2016「イノベーション賞」受賞(日本そうじ協会)

2016年12月 「iSkip Door 3.0」生産開始

2017年 6月 山形環境保全推進賞「山形県知事賞」受賞

2017年 3月 「i-Safety」レンタル事業開始

2017年 8月 「FUV」レンタル事業開始

2019年 2月 「健康経営優良法人2019」認定(日本健康会議・中小企業部門)

2020年 2月 「健康経営優良法人2020」認定(日本健康会議・中小企業部門)

2020年10月 「地域未来牽引企業」選定(経済産業大臣)

2021年 2月 「健康経営優良法人2021」認定(日本健康会費・中小企業部門)

2021年 6月 エコアクション21中央事務局より感謝状を拝受

2021年10月 環境ネットやまがたより感謝状を拝受

2022年 2月 「健康経営優良法人2022」認定(日本健康会費・中小企業部門)

2023年 2月 創立60周年記念式典開催

2023年 2月 「健康経営優良法人2023」認定(日本健康会費・中小企業部門)

2024年 2月 「健康経営優良法人2024ブライツ500」認定(日本健康会費・中小企業部門)



掃除大賞 2015 「経済産業大臣賞」授賞式

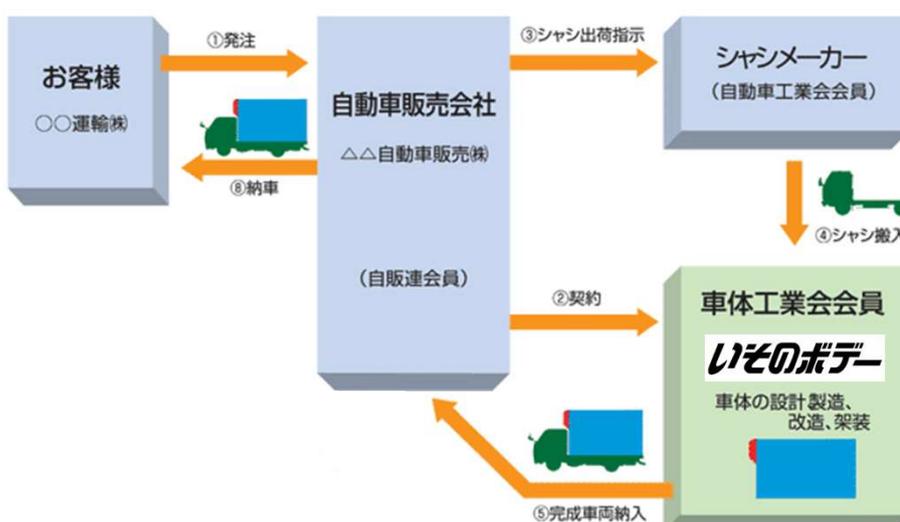


5. トラックの流通とボデー製作

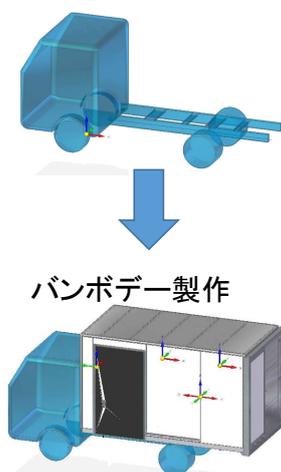
トラックはフレーム部分であるシャシと運転席部分のキャビン、荷台等のボデーで構成されています。トラックメーカーが手掛けるのはシャシとキャビンのみであり、ボデーの製造、据え付けは当社のようなボデーメーカーが担っています。

トラックボデーには、バンボデー(箱型荷台)、平ボデー(屋根がない平らな荷台)などの種類があります。当社では主に大手トラックメーカーが手掛けない重量物を運ぶ平ボデーや重機積ボデー、自社製品である箱型荷室用自動開閉扉「iSkip Door」を搭載したバンボデーを製造しています。

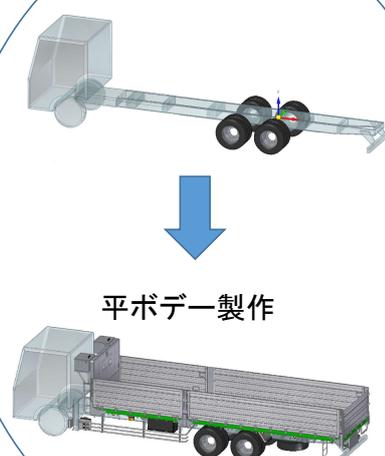
商用車の流通（冷凍バン型車の場合）



【バンボデー】



【平ボデー】



6. 株式会社いそのボデー環境経営方針

◆環境経営理念

私たち、株式会社いそのボデーは全人類が直面している地球温暖化問題を私たち自身の問題と認識し、多様なトラックボデーの開発設計・製造・メンテナンスに関わる事業活動を通じ、すべてのステークホルダーの利益・事業・生活・環境等をより豊かにしていく永続的な企業経営を目指してまいります。

◆環境経営行動指針

1. エコアクション21環境経営システムを構築・運営し、環境への取り組みを継続的に行います。
2. 企業活動に伴う環境負荷を軽減するために、二酸化炭素排出量、水使用量、廃棄物の排出量の削減及び有害化学物質の適正管理に努めます。
3. 製品製造において改善活動を継続し、リードタイムの短縮や廃棄物の削減に努めます。
4. 環境に配慮した製品・サービスの充実化を図り、お客様の環境保全活動の支援に努めます。
5. お客様から満足いただける高機能・高品質なボデーを提供し、社会の安全・安心に寄与します。
6. 環境関連法規等を遵守します。
7. 全従業員に対し環境経営方針を周知すると共に、必要な教育訓練を行います。
8. 心身ともに健康でゆとりある職場環境を目指します。
9. 地域活動や社会貢献活動に積極的に取り組みます。
10. 環境経営レポートの公表を通じて、当社の環境への取り組みを発信してまいります。

◆環境負荷物質フリー宣言

当社はこの「エコアクション21経営環境システム」への取り組みを基に、(社)日本自動車車体工業会の「環境負荷物質自主取り組み基準」に基づいた、環境負荷4物質(SOC:鉛、水銀、六価クロム、カドミウム)を、当社の製品には一切使用しないことを、ここに宣言致します。

2011年3月1日	制定
2019年2月1日	改訂
2020年2月1日	改訂
2021年2月1日	改訂
2022年2月1日	改訂



株式会社 いそのボデー

代表取締役

磯野栄治

7. EA21環境経営数値目標（単年度及び中長期目標）

付表2及びp.18, 21に 記載した環境経営計画のうちエコアクション21ガイドライン要求事項6.(2)との関連性が大きい事項を“EA21環境経営目標”とします。

環境目標			単位	基準	中期目標		
				2019～2021年度 目標平均	2022年度 (2月～1月)	2023年度 (2月～1月)	2024年度 (2月～1月)
二酸化炭素総排出量の削減			kg-Co2	288,695	285,808	282,950	280,120
環境負荷削減	1. 電力使用量の削減	kwh	276,410	273,646	270,909	268,200	
	2. ガソリン使用量	L	12,483	12,358	12,235	12,112	
	3. 軽油使用量の削減	L	5,183	5,131	5,080	5,029	
	4. 灯油使用量の削減	L	48,026	47,546	47,070	46,600	
	5. LPG使用量の削減	kg	796	788	780	772	
	一般廃棄物	t	16,940	16,771	16,603	16,437	
	産業廃棄物	t	149,585	148,089	146,608	145,142	
	総排水量(水使用量)	m ³	1,609	1,593	1,577	1,561	
	化学物質(PRTR対象)	kg	3,313	3,280	3,247	3,215	
環境に配慮した生産	ムダの削減	%		稼働率80%以上	稼働率80%以上	稼働率80%以上	
		Hr		手直し時間200H以下	手直し時間200H以下	手直し時間200H以下	
	働きやすい職場作り(カエル会議)	件数		リーダー会合 年4回/ 共有会 年4回	リーダー会合 年4回/ 共有会 年4回	リーダー会合 年4回/ 共有会 年4回	
	社員チョコ案提出率100%の継続	%	100%	100%	100%	100%	
	製品・サービスの環境負荷削減に関する目標	重機積のリサイクル可能率を95%以上にし「新環境基準適合ラベル(ゴールドラベル)」を取得する					

※購入電力CO₂排出係数は、東北電力(株)の令和4年度の調整後排出係数0.457kg/kWhを用いた。

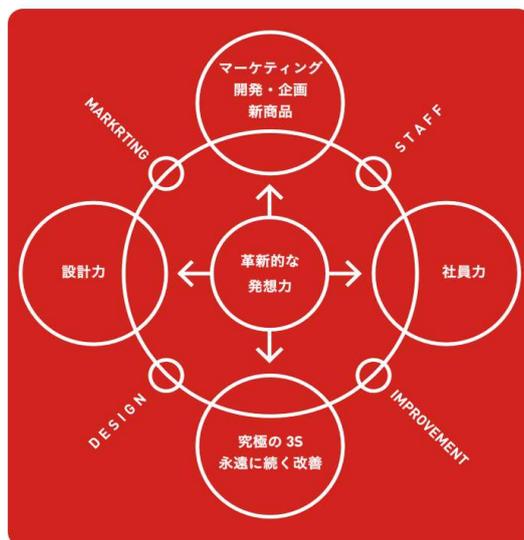
環境経営の具体的目標は企業価値決定要素の内容充実であり、また事業活動における環境負荷は企業価値決定要素の内容充実を目指して行う全ての活動の総合結果(指標)として現れるという基本的な考え方にに基づき(第4章参照)、2024年度の環境経営目標及び環境経営計画を第12章に記載したように、また環境経営数値目標を上記のように策定しました。

8. エコアクション21環境経営の新展開構想

エコアクション21(EA21)ガイドライン2017年版は、これが企業価値を高めるツールとして機能することを目的としています。したがって、EA21の認証・取得事業者における環境経営の目的は企業価値を高めることです。当社、(株)いそのボデーがEA21環境経営において目指す企業価値は、次のように考えることができます。

“トラックボデー及びその発展応用多機能製品である保管BOXの提供を通じて、収益体質堅持の下、持続的に発展、社会に貢献するリーディングカンパニー”

これに関する事項は企業案内の『代表挨拶』及び『経営理念』に記載されています(『付図1. 企業理念概念図』参照)。



付図1. 企業理念概念図

EA21環境経営によって企業価値を高めようとする場合、企業価値を構成する具体的要素(企業価値決定要素)を明確にし、その内容充実に努めることが求められます。企業価値はそれら企業価値決定要素に関する取組み活動の総合結果として現れるものであると考えられます。

各企業価値決定要素に関連する事項(これが具体的環境経営計画に相当する)は多岐にわたります。当社の場合、『企業理念概念図』に記載された事項が企業価値決定要素と密接に関係します。『企業理念概念図』を基に、またEA21ガイドライン2017年版の要求事項を参考にして企業価値決定要素を次のように決定しました。

付表 1. (株)いそのボデーが考える企業価値決定要素

No.	企業価値決定要素	関連事項等
①	環境負荷削減	二酸化炭素・産業廃棄物の排出量、水・化学物質使用量の管理
②	製品開発・販売	製品・サービスラインアップ、製造・販売力
③	顧客満足	製品・サービスのアフターフォロー
④	施設・設備管理	導入・維持
⑤	リスク管理	緊急事態、自然災害、社会動向
⑥	コンプライアンス	法令遵守、社会的責任
⑦	コミュニケーション	組織力、地域・社会連携
⑧	人間尊重	労務管理（働き方・福利厚生・健康管理）、労働安全・衛生
⑨	総合的環境経営管理	収益性、事業活動の環境負荷評価、EA21 環境経営活動の推進

エコアクション21環境経営では、①二酸化炭素排出量、②廃棄物排出量、③水使用量、④化学物質排出量削減を目指して活動することが必要条件として求められています。このうち、二酸化炭素排出量を例に考えると、これは電力や燃料の使用量によって決まるために、エコアクション21環境活動では、多くの場合、照明や動力の効率的な使用、エコドライブ等の“節約活動”を具体的な環境経営活動として取り上げられています。しかし、製品不良率を下げることによって無駄な作業を削減すること、製品歩留まりは同一でも使用設備、製造方法、技術熟練度によって作業効率が変わり、これによっても環境負荷は異なる。自然災害に対する備えが不十分であったために想定外の環境負荷が発生することも考えられます。このように一口に“環境負荷”と言っても、これに関連する事項は多岐にわたります。

したがって、仮に“エコアクション21の目的は環境負荷の削減である”と考えた場合でも、この環境負荷に関連する事項は極めて多岐にわたります、むしろ事業活動(会社経営)で実施している全ての事項が環境負荷の決定に関わると考えるべきです。企業価値を高めるツールとしてエコアクション21を機能させるためには、事業活動で実施している事項を企業価値決定要素別に徹底的に抽出・整理し、そのうち事業経営にとって重要な事項を環境経営計画として取り上げること、また電力使用量、廃棄物排出量のような環境負荷項目と1対1の関係で環境経営計画は策定しないことが“企業価値を高めるツールとしてのエコアクション21”にとって相応しいものであると考えられます。付表2は、事業活動で実施している事項を企業価値決定要素別に整理したものです。

付表2. 企業価値決定要素への具体的対応

No.	企業価値決定要素	具体的対応事項	詳細
①	製品（商品）の開発・販売	商品・サービスラインアップ充実	自社営業，ゴールドラベル
		力量向上	従業員採用，技術研修，3レス活動，マニュアル整備
		環境負荷削減	CO ₂ 排出量（電力，燃料），廃棄物排出量，水使用量，化学物質使用量
②	施設・設備管理	施設・設備の導入計画	前期集中的に行ったので維持管理
		施設・設備の使用及び維持管理方法	法定点検・年次点検・特定自主検査等・月次設備点検表活用
③	リスク管理	緊急事態対応（環境汚染，自然災害）	想定と未然防止策，対応訓練
		B C P	新型コロナ対策を踏まえ自社B C Pを策定
④	コンプライアンス	環境関連法規等の一覧表作成と更新	廃棄物管理，危険物管理，PRTR 対応
		従業員教育，法定要求事項への対応	品質方針の策定周知・法令勉強会の実施
		製品の安全性の追求と検査体制の充実	入出庫時の検査体制・アフターサポート
⑤	コミュニケーション	従業員教育，情報の共有化	教育計画，全社集会，定例会議
		改善提案	チョコ案
		情報収集	業界団体への参加・各種セミナー講演会の参加・JCOMaaS 活動参加・J-GoodTech（ジェグテック）活動参加
		地域連携・貢献	会社周辺清掃，交通安全呼掛け
		情報公開・発信	会社案内（PROFILE），環境経営レポート，ホームページ（ https://www.isonobody.co.jp/ ）
⑥	人間尊重	働き方改革；働きやすい職場	カエル会議の実施と活動資金支援によるコミュニケーション向上 カエル会議共有会の実施・全社員と面談実施
		健康・安全・衛生管理	3 S 活動，職場巡視，健康診断，作業環境測定，エコドライブ研修会
		労働安全衛生	
⑦	総合的環境経営管理	環境経営システムの構築・運用	EA21 認証・登録，経営理念，経営方針・目標・計画
		目標管理と評価	

エコアクション21環境経営の新展開構想をもとに取組を開始しました。

9. 企業価値決定要素別活動事例の紹介

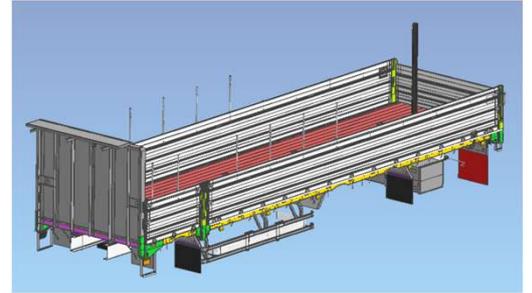
(株)いそのボデーにおける環境経営にとっての最重要事項は、お客様に満足していただけの高機能・高品質のトラックボデーを環境負荷のミニマム化を図った状態で製造・提供することです。

9.1 製品(商品)の開発・販売

(1) 製品(商品)の開発・販売

◇3次元CAD設計による削減

平ボデーの設計で3次元CADを用いた事前検証を実施しています。設計者へ干渉等の不具合箇所をフィードバックすることで不具合を回避し、手直し作業や手直し部品製作の削減に繋がっています。また、現合対応必要箇所を3次元CADを用いて作業者に説明し、さらにNotionというツールに現合対応資料を作成し作業係全体で共有しています。加工ミス削減や作業時間短縮に繋がっています。



(2) 力量向上

各係で技術勉強会を実施しています。ベテラン社員から若手社員へ、ベテラン社員は再確認を行いながら後輩社員へ技術指導を行っています。また、社内不具合の再発防止対策としての勉強会も行われています。今年度は60件の勉強会を行いました。

教育訓練記録				実施日時
教育記録	係	製作係		R6.5.29
	講師	窪田 竜		13:00~13:30
	テーマ	シリンダーピストン部等、ボデー・現合の塗装の基準		
使用テキスト及び内容	シリンダー部におけるボデーとの干渉防止の重要性、ボデーの塗装基準は必ず10mm以上は必要、その他注意事項			
No.	所属	受講者氏名	有効性評価(コメント)	
1	製作	阿部 有美	ボデーの塗装基準は必ず10mm以上は必要、ボデーの塗装基準は必ず10mm以上は必要、ボデーの塗装基準は必ず10mm以上は必要	
2		李付 浩也	ボデーの塗装基準は必ず10mm以上は必要、ボデーの塗装基準は必ず10mm以上は必要、ボデーの塗装基準は必ず10mm以上は必要	
3		柳 幸門	ボデーの塗装基準は必ず10mm以上は必要、ボデーの塗装基準は必ず10mm以上は必要、ボデーの塗装基準は必ず10mm以上は必要	



また、作業している様子を撮影し動画マニュアルを作成しました。動きや音声を合わせることで紙面よりわかりやすいマニュアルになりました。



手順 高圧ホースと低圧ホースの損傷・濡れが無いか目視で確認する

(3) 顧客満足

◇納車実績報告

納車時に、担当営業者が納車実績報告を作成しております。「お客様からの声」「ディーラー様からの声」「担当者のメモ」を記録として残し、次回の商談や車体製作に活かしています。今年度は44件のアンケート調査にご協力をいただきました。弊社のホームページ内に「納車実績のご報告」として仕様名と車輛の写真を掲載しています。



大型低床クレーン付重機運搬ボデー



増トンクレーン付アルミブロック3方開

(4) 環境負荷削減

◇申請や提出書類をデジタル化(ペーパーレス)

今まで用紙に記入して提出していた休暇申請や改善提案のチョコ案制度などの提出書類をアプリ化しました。

DXメンバーを社内から集め、ノーコードツールの選定・導入、使い方の勉強、開発を行いアプリを全社員に使ってもらっています。端末操作の得意不得意を考慮し従業員に合ったシステムを作ることができました。大量の紙の使用量削減、紙を印刷する手間や承認までにかかる時間の削減だけでなく、提出後の集計事務処理の効率化にもつながっています。今後もデジタル化・DX化につながる活動を進めていきます。



◇産業廃棄物

産業廃棄物用のコンテナに当社のアイデアとして木くずを入れるコンテナに雨雪の対策として脱着可能な屋根を製作し取りつけています。業者さんが引取に来たときは社員が簡単に取り外します。またコンテナが満杯になると「総務に連絡」の表示は継続し手配が重複しないように心がけています。コンテナの看板の表示を見直すなど分別徹底に力を入れています。



コンテナ交換手配を
連絡済であることの
通知！



9.2 施設・設備管理

◇施設・設備の使用及び維持管理

工場の各作業場には天井クレーンや局所排気装置などが設置されており、毎日始業前の点検を行い異常があればすぐに対応しています。また年に一度の定期年次点検も計画的に実施しています。



9.3 リスク管理

◇緊急対応訓練

・定期訓練

今期は各部門にて、安全委員が指導者となり、消火設備・消火器の位置と使用方法の再確認を行いました。また、万が一の時にすぐ使用できるよう消火設備・消火器周りの整理も行いました。火災発生・発見時の対処法及び消火器の取り扱いを学び再確認することで、安全に落ち着いて行動できるようになります。会社以外の場でも役に立つことです。



・油汚れの処理

メンテナンス部員にてオイルクリーン(トラスコ)吸着剤での油汚れ処理方法について訓練を実施しました。環境への影響が少ない処理方法を実技で学び共有しました。



9.4 コンプライアンス

コンプライアンスは法令遵守だけでなく、顧客、社会に対しての責任・約束の履行を含むものであると考えます。

◇不具合発生と対策

発生した不具合の内容と再発防止策を報告書にまとめ関係部署へ回覧し、また社内メールにて全社員へ共有しています。不具合を出さないことが一番ですが、出してしまった後の対応を迅速に行うことで信頼性の高い製品を提供し続けることが可能です。不具合が発生した際には、原因の分析と対策の実施を行い、再発防止に努めてまいります。

9.5 コミュニケーション

エコアクション21環境経営システムの構築・運用の目的の一つは組織力の強化，顧客信頼性の確保にあり，その基本は社内及びお客様とのコミュニケーションの円滑化を図ることにあります。

◇社内報の発行

弊社の社内報「ISONOだより」は2020年10月に創刊号が発行され，2024年12月に第13号の発行に至りました。発行時期に合わせ表紙やデザインを工夫し，より楽しめる手作り社内広報誌として従業員の関心を集めています。



◇工場見学会

今年度は8月と11月に地域の高校生をお迎えし会社見学会を実施しました。これらの取り組みにより，若い世代に当社の業務内容や職場環境を知ってもらう機会を提供し，将来的な人材確保と地域社会への貢献を目指しています。今後も積極的に地域との交流を図り，魅力ある企業作りに努めてまいります。



◇顧客満足 デジタル検収

当社の営業エリアは全国を対象としていますが，遠方のお客様は車両検収にお越しいただくことが難しいこともあります。

そこでトラック製造過程の写真や出荷前の完成写真を撮影し，お客様や販売店様へメール送付するなどの「デジタル検収」を実施しています。納車までの進捗報告・情報共有を実現し，安心して納車日を迎えていただけます。



9.6 人間尊重

◇カエルチャレンジ

「カエルチャレンジ」とは社員が自らチームを組み、業務のやり方を見直したり、ムダを減らしたるするなどの改善活動です。「やり方を変える」「効率を上げて早く帰る」といった“カエル”をキーワードに、社員のアイデアで働き方をより良くしていくことを目的としています。今年は全8チームが応募し1年かけて取り組んだ内容を期末に発表しました。特に優秀だったチームを紹介します。

「ボルト補充仕組み改善」チーム

現場でボルトを補充する際、これまでは購入まで足を運んで注文する必要があり、歩くムダが発生していた。そこでボルト棚にQRコードを設置し、スマホで読み取ってボタンを押すだけで購入に注文が届く仕組みを構築。これにより歩行時間が大幅に削減されただけでなく、発注漏れの防止、現場作業の中断回数減少など、作業効率や情報の正確性も向上する副次効果に加え、デジタル化による業務の見える化と効率化も実現した。

◇3S(整理・整頓・清掃)活動

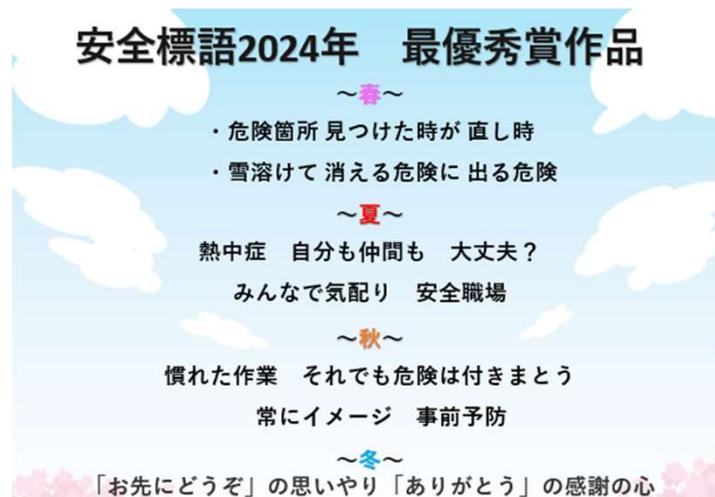
当社では「工場のショールーム化」としてお客様が喜んで見学に来るような工場づくりを進めています。

3S活動の一環として「赤札」を行いました。不要なものや1か月以上使う予定の無いものなどを対象に委員会メンバで工場内を巡回しました。注意して見てみると長期間使われていないものや管理者が不明なものなどが多くあげられました。この活動により工場内の環境が大きく改善され作業効率や安全性が向上したと思います。これを一過性のものにせず継続させるため定期的な見直しなどを行っていきます。

また、月に1度全社ですみっこ清掃の時間を設けています。毎日の5分間清掃で出来ないところを徹底的に掃除することが目的です。社員は清潔な環境のもと作業ができ、お客様にも気持ちよく来社していただくことができます。

◇安全衛生委員会活動

●全社員へ向け安全標語の募集を行っています。春、夏、秋、冬をテーマに年4回、毎回沢山の標語が集まります。全社員の投票で最優秀賞、優秀賞、佳作を選定し表彰します。標語を考える時間や他者の標語を見る時間は、安全や健康と向き合う時間となり、とても有意義な活動です。



●毎月第一水曜日に「安全衛生パトロール」を行っています。
保護具着用の徹底や不安全な箇所を写真に撮ってメンバー及び管理職にメール配信することによって、情報を共有し、危険度の高いところはすぐ対応するようにしています。今年度も労災が発生してしまいました。特に夏の暑い時期に集中していたため、来年の暑くなる前にしっかりと対策を考え実行していきます。

毎年2月に安全・健康第一をモットーに全社員で決起大会を開催しています。

【2024年 スローガン】

高めよう！一人ひとりの安全意識
築こう！災害ゼロの明るい職場



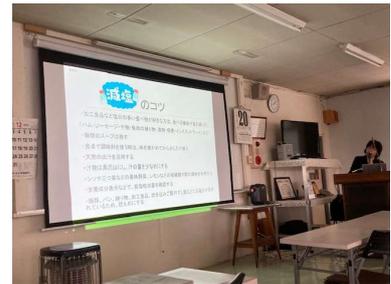
◇健康経営教室

●健康づくりセミナーとして講師をお招きし、【Inbody測定会】を行いました。
InBodyは体成分を詳細に分析できる機器で、筋肉量や体脂肪率、基礎代謝量、体のバランスなどを数値で見ることが出来ます。結果表には部位別の筋肉量や体のバランスも記載されており、普段気づかない体の歪みや左右差に気づくこともできました。

あなたの身体のゆがみ 1



●その他にも、血行改善アクティブストレッチ教室やたばこセミナー、食事セミナーなど健康に関するセミナーを行いました。参加者からは「日常生活に取り入れやすい内容だった」「健康への意識が高まった」などの感想が寄せられ、社員一人ひとりが自分の健康と向き合う良いきっかけとなりました。今後も多様なテーマで健康づくりをサポートし、働きやすい職場環境の実現を目指してまいります。



◇社員の安全確保と地域貢献

・側溝砂利上げ

周辺地域からの要請により、稲作時期前に弊社駐車場脇の側溝清掃を行いました。除雪時に雪と一緒に砂利も側溝に押し出していることなどもあり、年1度この時期に清掃を行っています。農家の方もきれいな水を田畑に使用してもらっています。また清掃することにより社員駐車場の車両を止める位置が把握しやすく、スペースを無駄なく使用できるようになりました。事故防止にもつながります。



◇地域の環境保全

春と秋に全社員で会社周辺の清掃活動を行いました。清掃活動を通じて、美しい環境の維持と地域社会への貢献を実現しています。



◇エコキャップ推進運動

夏場には社員にペットボトルの水を支給しています。ペットボトルキャップを収集し、エコキャップ寄付活動を通じ社会貢献と持続可能な未来への貢献を実践しています。今年もクリーンシステム様へ寄付しました。さらにペットボトルは連携している業者さんからリサイクルを行っています。



◇組織活性化と職場環境改善

講師をお招きし、ゲートキーパー養成講座が開催されました。悩んでいる人に「気づき」「声をかけ」「話を聴いて」「必要な支援につなげ」「見守る」人というゲートキーパーの役割を果たすためのスキルを身に着けました。今後も社員同士が支え合える環境づくりを進め、メンタルヘルスの向上に取り組んでまいります。



◇チョコ案・チョコの種(改善提案活動)

チョコ案とは、2012年から始まった「ちょこつとした改善提案」で、チョコやあんこのように甘々な改善提案制度です。社員全員が月に1件以上の改善提案を行っています。2014年5月から129か月一人1件以上の提出が継続中です。

小さな改善を積み上げることで会社の大きな改善、発展につながると考えています。優れたアイデアや多くのアイデアを出した社員に対する年間表彰も行っています。

また、今年度より「チョコの種」という活動も始まりました。「チョコの種」とは、改善および提案により効果が期待されることへのアイデアや問題が発生したことへの一時処置や潜在している問題解決のアイデアをチョコ案の種として提出するものです。

この活動は“考えて仕事をする集団”の基本になっています。

《 2024年度の年間表彰チョコ案 》

社長賞

補助作業台を工作した



最優秀賞

栈橋格納BOXを取り付けるときに5人の人を集めてボディの下に潜って人力で取り付けした。

2本の長いボルトを利用して取り付けする4カ所の穴の対角の2本の穴に、長いボルトを通して、インパクトとメガネで締め付けすることによって1人で安全に楽に1分ぐらいでボックスを取り付けすることができた。



優秀賞

平ボの柱を保管しておくのに、決まった場所がないので、立て掛けておくか、地べたに置いていた

格納する台をつくることによって、安全面、美化面が良くなった。また、専用の台車を用意することによって、何回か分けて現場に出庫していたのが一度に出庫可能になった。



優秀賞

内装作業中、集中していると床に敷いてるシートの後端に気が付かず転落しそうになる時がたまにありました

床シート後端部に赤ラインでマーキングしました。



10. EA21環境経営目標の実績とその評価

環境目標		単位	2019～ 2021	2024年度		評価
			年度平均 基準	目標	実績	
二酸化炭素総排出量の削減		kg-CO ₂	288,695	280,120	325,756	目標数値は未達成。 電力と灯油の使用量が多かったのが主な原因と考えられる。
環境 負荷 削減	1. 電力使用量の削減	kwh	276,410	268,200	292,362	目標数値は未達成。製作台数増加により設備使用時間が多くなったため。また、新工場稼働開始により増えたとみられる。
	2. ガソリン使用量	L	12,483	12,112	13,952	目標数値は未達成。しかし前年度比-6.5%
	3. 軽油使用量の削減	L	5,183	5,029	5,213	目標数値は未達成。主に、部品配達車と除雪車への使用量が多かった。
	4. 灯油使用量の削減	L	48,026	46,600	58,692	目標数値は未達成。 主に塗装作業の乾燥用に多く使用したため。
	5. LPG使用量の削減	kg	796	772	30	目標数値は大幅に達成。塗装の乾燥炉を使う業務が減ったため
	一般廃棄物	t	16,940	16,437	5,985	目標数値は大幅に達成。ペーパーレス化が進んでいることと、一部廃棄方法が変わり産業廃棄物に含まれるようになったため。
	産業廃棄物	t	149,585	145,142	121,232	目標数値は達成。
	総排水量(水使用量)	m ³	1,609	1,561	1,021	目標数値は達成。シャワーテストの方式を改善したため。
	化学物質(PRTR対象)	kg	3,313	3,215	6,478	目標数値は未達成。塗装の業務量が多かったため。また、集計項目追加と、集計方法を見直した。
環境 経営に 配慮した 生産	ムダの削減	%	/	平均稼働率80%以上	75.4%	目標数値は未達成。日報の書き方や集計方法再検討。
		Hr		手直し時間200Hr/月以下	月平均165Hr	目標数値は達成。
	-	募集～改善取組～発表会実施		予定通り実施	8チームの応募があり年度末には活動報告会と表彰を行った。	
	%	社員チョコ案提出率100%の継続		100%	100%	100%
製品・サービスの環境負荷削減に関する目標		重機積のリサイクル可能率を95%以上にし「新環境基準適合ラベル(ゴールドラベル)」を取得する			取組中。来期も継続して取り組む。	

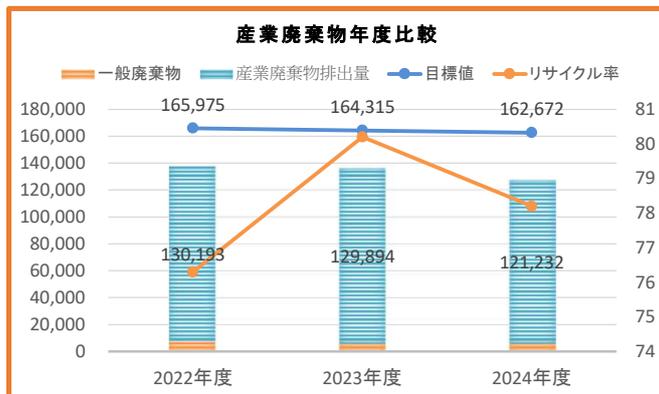
11. EA21環境経営目標の実績 (環境負荷集計値のグラフ化)

■ 二酸化炭素排出量年度比較表

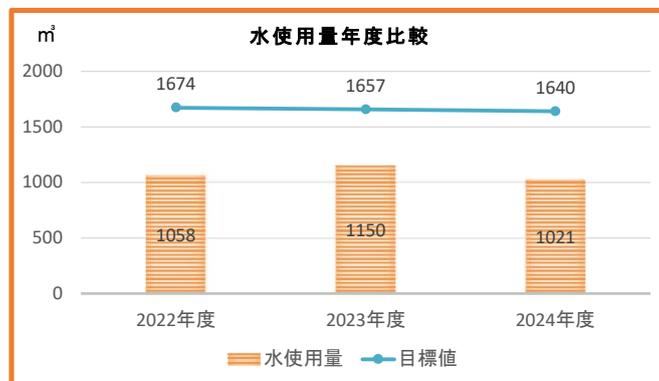
		2022年度	2023年度	2024年度
目標値	CO ₂ 排出量	285,808	282,950	280,120
実績値	CO ₂ 排出計	313,454	302,710	325,756
	電力	132,047	131,784	133,609
	軽油	12,281	11,228	13,448
	ガソリン	33,744	34,612	32,368
	灯油	134,521	124,857	146,143
	LPG	861	230	188

(単位: kg-CO₂)

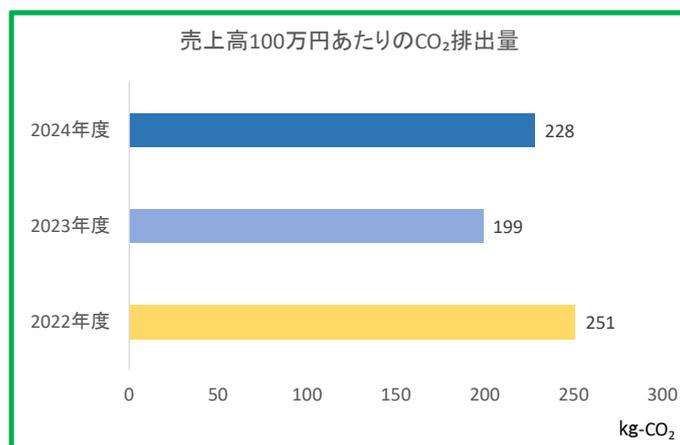
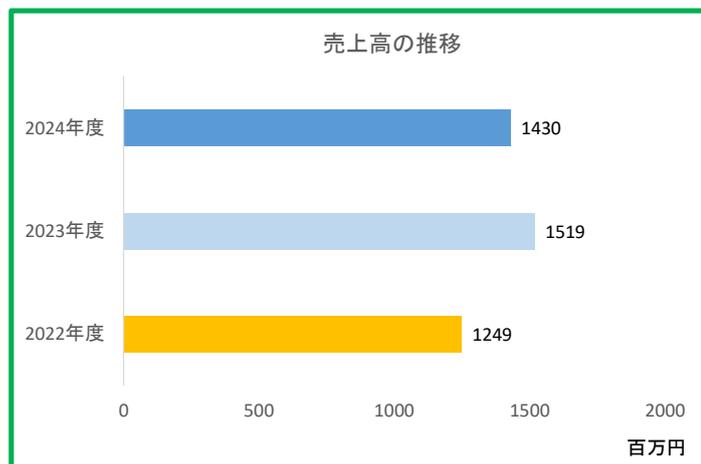
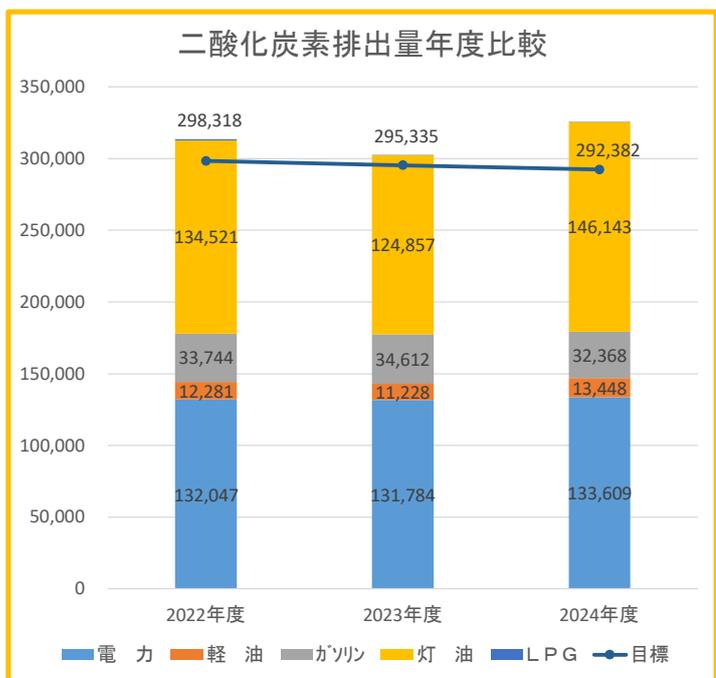
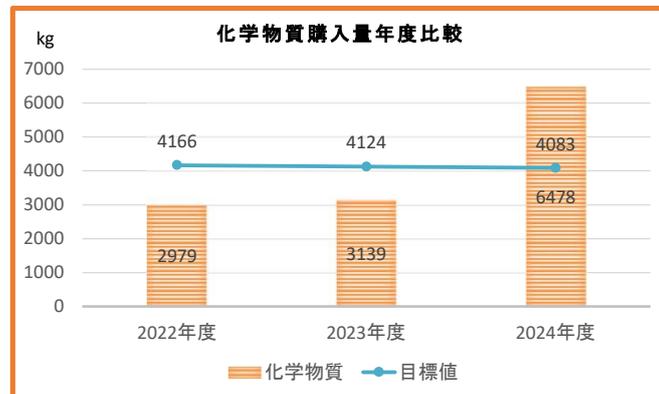
■ 産業廃棄物排出量



■ 水使用量



■ 化学物質使用量



12. EA21環境経営計画とその取組結果

評価 ○十分に取組んだ △ある程度取組んだ ×取組不十分

	企業価値決定要素	環境経営目標	環境経営計画(取組内容)	取組結果及び評価	総合評価
1	環境負荷削減	二酸化炭素排出量の削減(前年度1%削減)	* ノー残業デーの実施(第一水曜日)の継続	毎月第一水曜日実施。放送にて呼びかけにて意識向上したもも納期等の都合で全社一斉には至らず。	😊
			* 車両の点検及び走行記録の徹底	毎週水曜日点検継続。1台ごとの燃費集計し新車購入時の参考にする。	😊
		一般廃棄物と産業廃棄物量の削減(基準年度3%削減)	* 端材量の削減・分別の徹底・産廃契約書管理	廃棄物の分別の徹底。	😊
		水使用量の削減(前年度1%削減)	* 用水の適正使用(節水の呼びかけ)継続	手洗い場に節水要請表示。	😊
		化学物質対応の管理	* 特殊健診の実施・作業環境測定の実施・PRTR使用量の届け出・有害物質の使用量削減	5月、11月に特殊健診及び作業環境測定実施。5月PRTR使用量届出済。	😊
2	製品開発・販売	製品開発・サービスの充実	* 重機積みの新環境適合ラベル(ゴールドラベル)取得	取組中。来期継続して取り組む。	😊
			* 標準ボデー・標準パーツの三次元化	受注案件の3次元モデリングにより標準パーツの作図を進めた。	😊
		標準化台数の拡大と作業工数の削減	* 各部門の活動(KPI)を通して改善。見積り工数に対する実績工数率を指標	目標数値より7%達成	😊
		受注台数の拡大と作業工数の削減	* メンテナンス台数月245台以上	月平均206台。目標未達。	😊
		ムダの削減	* 各部門の稼働率、手直し時間の削減	手直し時間前年度比-17.5%	😊
	技術力の向上	* 技術の伝承・勉強会の実施・作業マニュアル作成「1人3役、1業務3人」	各作業別マニュアル作成の継続。動画によるマニュアルの作成。	😊	
3	顧客満足	「顧客の声」収集とフォロー	* 納車車両アンケート実施と社内データ化と有効活用	納車アンケート44件。分析結果まとめ。	😊
4	施設・設備管理	設備・機械の維持管理の徹底	* 法定点検・年次点検・特定自主検査・月次点検表活用	計画に従い、特定自主検査を4件実施。	😊
		効率を上げ負荷を軽減するための3S活動の継続	* 3Sの再徹底(赤札・すみっこ清掃、工具箱・作業台の3S)	3月工具箱点検、4月事務机点検、8月赤札実施。毎月全社すみっこ清掃実施。	😊
5	リスク管理	緊急事態への対応	* 想定と未然防止策、対応訓練の実施	油洩れ対応訓練と避難訓練・消火訓練の実施	😊
6	コンプライアンス	法定要求事項への対応	* 外部研修会参加・社内勉強会	マスクフィットテスト実施者養成研修受講	😊
		製品の安全性の追求と検査体制の充実	* 不具合発生状況把握と未然防止策の徹底	不具合要因分析まとめ実施及び周知。	😊
			* 入庫時での検査体制強化と情報の共有	【工程表】スレッドにて共有。	😊
7	コミュニケーション	情報の共有化	* 社員教育の実施と記録公開・社内報の発行	社員教育実施の記録公開(60件)により共有。社内報の第11号・第12号・第13号作成配布。	😊
		チョコ案の提出率100%の継続と年間2000件提出	* 毎月ひとり1件以上チョコ案を提出	毎月1人1件以上提出継続(129か月)。	😊
		社外情報発信・公開	* HP・SNSによる情報公開更新	HPIにてブログや納車実績を掲載。SNSによる社内イベント等投稿。	😊
		地域連携・貢献	* 会社周辺清掃・交通安全周知活動への参加・寄付活動(ボトルキャップ)	エコキャップ回収や会社周辺清掃活動の実施	😊
8	人間尊重	組織活性化と職場環境改善	* カエルチャレンジの実施	チーム・取組内容自由・応募制の改善活動。全8チーム実施。	😊
		自己啓発意欲の醸成	* 資格取得支援・外部セミナーへの派遣	大型自動車免許取得他計画通り実施。	😊
		社員の安全確保と健康維持	* 職場巡視・労災対策と未然防止・健康診断の実施・安全衛生標語募集・健康セミナーの実施	毎月1回安全パトロール実施 ・安全衛生標語「春夏秋冬」のテーマ別に多数応募 ・健康セミナー5件実施	😊
9	総合的環境経営	環境経営システム構築・運用	* 経営会議・EA21認証継続	毎月経営会議実施・EA21更新審査実施。継続認証	😊

13.環境関連法等の順守状況、苦情訴訟等の有無

■該当する環境関連法規等とその遵守状況

当社では、下記の環境関連法規が適用されますが、その遵守状況を確認した結果、問題ありませんでした。

- ◇廃棄物処理法 ◇自動車リサイクル法 ◇フロン排出抑制法 ◇家電リサイクル法
- ◇大気汚染防止法(VOC関係) ◇悪臭防止法 ◇PRTR法
- ◇水質汚濁防止法(油水分離層) ◇浄化槽法
- ◇騒音規制法・振動規制法(山形県生活環境の保全等に関する条例)
- ◇消防法並びに山形市火災予防条例 ◇高圧ガス保安法 ◇労働安全衛生法(有機則)

■苦情・訴訟の有無

環境面での訴訟は、創業以来ありません。また、外部からの環境に関する苦情は、過去3年間ありません。

14.次年度のEA21環境経営目標及びEA21環境経営計画

企業価値決定要素	環境経営目標	環境経営計画(取組内容)	担当部門
1 環境負荷削減	二酸化炭素排出量の削減(前年度1%削減)	* ノー残業デーの実施(第一水曜日)の継続アナウンス * 車両の点検及び走行記録(燃費)の徹底	人事総務部 各車両担当
	一般廃棄物と産業廃棄物量の削減(基準年度3%削減)	* 分別の徹底 * 産廃契約書等管理	生産部・EA21
	水使用量の削減(前年度1%削減)	* 用水の適正使用(節水の呼びかけ)継続	全社・EA21
	化学物質対応の管理	* 特殊健診の実施・作業環境測定の実施・PRTR使用量の届け出	人事総務部
	製品開発・サービスの充実	* 重機積みの新環境適合ラベル(ゴールドラベル)取得 * バンポデー設計の三次元システム化	営業部 営業・設計
2 製品開発・販売	適正な在庫管理	* 年計で前年比10%削減	購買
	生産性向上	* 各部門の活動(KPI)を通して改善。見積り工数に対する実績工数率を指標	全社
	受注台数の拡大と作業工数の削減	* メンテナンス台数月250台以上	メンテナンス
	ムダの削減	* 各部門の稼働率、手直し時間の削減	全社
	技術力の向上	* スキルマップ表の活用	全社
3 顧客満足	完成車イメージの共有化	* 三次元画像、データによる提案・設計の三次元化促進	設計
	車両製作プロセスの共有化	* 車両のデジタル検収実施	営業企画
	「顧客の声」収集とフォロー	* 納車車両アンケート実施と社内データ化と有効活用	営業企画
4 施設・設備管理	設備・機械の維持管理の徹底	* 法定点検・年次点検・特定自主検査・月次点検表活用	全社
	効率を上げ負荷を軽減するための3S活動の継続	* 3Sの再徹底(すみっこ清掃、工具箱・作業台の3S)	3S委員会
5 リスク管理	緊急事態への対応	* 想定と未然防止策、対応訓練の実施	EA21事務局・安全衛生委員
6 コンプライアンス	法定要求事項への対応	* 外部研修会参加・社内勉強会	全社
	製品の安全性の追求と検査体制の充実	* 不具合発生状況把握と未然防止策の徹底 * 入在庫時の検査体制強化と情報の共有	生産技術 生産企画管理
7 コミュニケーション	情報の共有化	* 社員教育の実施と記録公開(勉強会) * 社内報の発行	全社・人事総務部 人事総務部
	チョコ案の提出率100%の継続と年間2000件提出	* 毎月ひとり1件以上チョコ案を提出	全社・3S委員会
	社外情報発信・公開	* HP・SNSによる情報公開更新	営業企画
	地域連携・貢献	* 会社周辺清掃・交通安全周知活動への参加・寄付活動(ホトルキャップ)	人事総務部
8 人間尊重	組織活性化と職場環境改善	* 新カエルチャレンジ	カエルチャレンジ事務局
	自己啓発意欲の醸成	* 資格取得支援・外部セミナーへの派遣	人事総務部
	社員の安全確保と健康維持	* 職場巡視・労災対策と未然防止・安全衛生標語募集 * 健康診断の実施 * 健康セミナーの実施	安全衛生委員 人事総務部
9 総合的環境経営	環境経営システム構築・運用	* 全体会議	人事総務部
		* EA21認証継続	EA21事務局

15. 代表者による全体の評価と見直しの結果

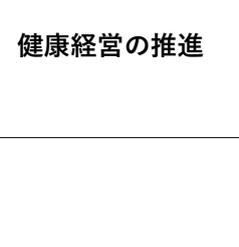
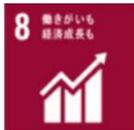
当社は主にトラックボデーの製造やメンテナンスに関わる事業を通して、ステークホルダーの皆様の利益・事業・生活・環境等をより豊かにしていく持続的な企業を目指しています。

持続的な企業を目指す以上、お取引先はもとより社会から信頼を得るとともに、企業体力をつけていくことが不可欠です。高機能・高付加価値のトラックボデー製造・販売を主とした事業活動を展開するうえで、エコアクション21環境経営システムを構築・運営し、様々な施策を展開することで、組織力の強化、創造的職場の形成が図られ、企業価値向上につながるほか、社会的に求められる環境や人権等に配慮した経営が実現するものと確信しております。

企業を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、取り組みに終わりはありません。これからも環境経営活動を継続することで、社会の信頼や社員満足を高め持続的な経営に結びつけていきたいと考えています。

私たち、いそのボデーは、個性あるトラックボデーメーカーとして、さまざまな挑戦を続けています。

また、SDGs達成に向けて取組み持続可能な社会作りをしていきます。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
地球温暖化への取組 	  	2011年より「エコアクション21」への取組みを開始しております。CO ₂ 総排出量削減当の中長期数値目標達成に向けて、全社員で環境経営改善活動を継続してまいります。
イノベーション 	  	ドライバーのリスク軽減や配送効率化に繋がるトラックドア開閉システムの特許取得等、独自技術を用いた製品製造を行っており、今後も持続可能な発展に寄与していきます。
健康経営の推進 	 	健康優良法人の認定を受けており、独自の健康教室の実施等を行っております。今後も従業員の心身の健康を守ること「安全・安心な労働環境」の構築に努めてまいります。

この環境レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡
ください。また、当社HP (<http://www.isono-body.co.jp/>),
エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>)でも
ご覧いただけます。

〒990-2226 山形市西越25番地
株式会社 いそのボデー
TEL023-624-1711 FAX023-632-0681



HP



Facebook



Instagram



SDGs



新環境基準ラベル
(ゴールドラベル)



地域未来牽引企業



2024
健康経営優良法人
Health and productivity
ブライツ500